

各位

「子どもの安心・安全を脅かす環境と支援の在り方」に関するワークショップへのお誘い

残暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、長崎県大村市におきまして、平成30年10月20（土）と21日（日）に「子どもの安全・安心を脅かす環境と支援の在り方」をテーマに「第13回カメラアこころのワークショップ」を開催する運びとなりました。

このワークショップは参加者主体の体験型研修であり、これまで12回の開催で580名余りの方にご参加いただいております。

平成11年の児童虐待防止法施行から児童虐待相談件数の増加は留まることなく、全国の児童相談所が対応した平成28年度の児童虐待の件数は122,575件となり、平成11年度に比べ、約10.5倍となっている。そんな中、今年3月東京都目黒区で覚えてばかりのひらがなで両親へのメッセージを書き残した5歳の子どもが虐待の末に亡くなり、その両親が逮捕される事件が大きく報道されました。さらに、中高生に目を向けるといじめや自殺の問題だけでなく、SNSや性や違法薬物による犯罪被害、更にはゲーム依存等の多様な問題に直面していることも少なくありません。

わが国では、児童福祉法改正、「新しい社会的養育ビジョン」など、子どもを取り巻く児童福祉施策の大きな転換期を迎えており、児童相談所や基礎自治体における体制強化、家庭養育の原則等が図られています。しかし、児童虐待の発生予防、発生時の迅速で的確な対応、被虐待児のケアと様々な課題が山積しており、目黒区の事件でも取り上げられたよう関係機関の連携した取り組みは不可欠なものとなっています。

そこで、今回のワークショップでは児童虐待や犯罪被害の危険な環境に脅かされる子どもたちの実態を知り、各種機関の効果的な連携の在り方を含め大人たちが如何にして向き合い支援していくべきか、共に学び合う機会にしたいと思っております。

講師には、児童相談所の所長を歴任され現在は川崎市児童家庭支援・虐待対策室担当部長で精神科医の大塚俊弘氏。警察官を退官後に犯罪被害者の支援として子どもたちも数多く支援している公益社団法人長崎犯罪被害者支援センター参与の久米一昭氏、少年補導職員として非行少年等と長年向かい合い支援も行われてきた同センター支援員の平山由美子氏をお迎えし、子どもの安心・安全を脅かす環境や取り巻く問題、支援における連携の在り方等についてレクチャーとグループワークを進めていきます。

日頃から子どもたちの支援に携わっている方、保育所や学校教員等の子どもたちに関わりのある方だけでなく、関心のある方に多数のご参加いただきたく存じます。

プログラム・募集要項を添付いたしますので、ご覧頂きますようお願い申し上げます。

平成30年8月吉日

医療法人カメラア 理事長 長岡和

## 第13回 カメリアこころのワークショップ 開催プログラム

テーマ：『子どもの安全・安心を脅かす環境と支援の在り方』

1日目 平成30年10月20日(土)

12時30分	～	13時00分	受付
13時00分	～	13時15分	開会、オリエンテーション
13時15分	～	14時10分	アイスブレイキング、グループ自己紹介
14時10分	～	15時30分	ミニ講義 テーマ：子どもの安心・安全が脅かされる環境 講義① 大塚俊弘氏 「児童虐待の現場」 講義② 久米一昭氏・平山由美子氏 「子どもの非行と被害」
15時45分	～	18時30分	グループワーク、全体発表
19時00分	～		懇親会

2日目 平成30年10月21日(日)

9時15分	～	9時30分	全体会（1日目振返り）
9時30分	～	10時15分	対談 「支援の実際と効果的な連携に向けて」 大塚俊弘氏×久米一昭氏×平山由美子氏
10時15分	～	11時15分	グループワーク
11時15分	～	11時45分	全体会、全体質疑、閉会式

※ 進行の状況により一部スケジュールは変更になる場合があります。

### <ワークショップ講師紹介>

#### 大塚俊弘氏（川崎市児童家庭支援・虐待対策室担当部長）

1962年長崎市生まれ。長崎大学医学部卒。精神科医。

1999年長崎県に入職、精神保健福祉センター所長、医療政策課長、保健所長のほか、こども女性障害者支援センター所長として児童相談所長、婦人相談所長を経験。

2016年より国立精神・神経医療研究センター上級専門職を経て2018年より現職。

#### 久米一昭氏（公益社団法人長崎犯罪被害者支援センター参与）

1980年長崎県警察官を拝命。32年6ヶ月、生活安全部門一筋で勤務し、麻薬・覚せい剤、少年・風俗・闇金事件、ストーカー・DV対策等に従事。2013年に長崎県警察を退職後、犯罪被害者やその家族を支援する公益社団法人長崎犯罪被害者支援センターに従事する。

#### 平山由美子氏（公益社団法人長崎犯罪被害者支援センター被害者支援員）

大分大学教育学部卒業後、1986年から2012年まで長崎県警察少年補導職員として勤務。その後、公益社団法人長崎県防犯協会連合会を経て、2016年から現職。活水女子大学、長崎女子短期大学の非常勤講師も歴任。

## 第13回 カメリアこころのワークショップ 参加者募集要項

ワークショップ研修を開催いたしますので、以下の要領でお申し込み下さい。

1. テーマ： 子どもの安全・安心を脅かす環境と支援の在り方
2. 開催日時： 平成30年10月20日（土）～10月21日（日）
2. 開催会場： 大村市男女共同参画推進センター「ハートパル」 多目的室  
長崎県大村市西三城町8番地 大村市総合福祉センター3階  
TEL：0957-54-8715
3. 参加対象：  
医療福祉関係者、行政職員、教職員、学校保健、保育園・こども園等の子育て支援に携わる者、教育・医療福祉系の研究者・学生、こども支援に取り組む民間団体等、児童虐待等の子どもたちの諸問題に関連した社会問題に対して関心のある報道関係者。上記以外でも、児童虐待等の子どもたちの諸問題に関心があり、それについて実際に関わる機会があるまたは予想される方。いずれも、守秘義務を守ることができる方に限る（なお、当法人において治療関係にある方は原則的に参加をご遠慮下さい）。  
また、ワークショップ研修の性格上、原則としてプログラムの最初から最後のセッションまで参加出来ること。
4. 募集人員： 50名程度
5. 参加費用： 無料  
\*1日目のワークショップ終了後に懇親会を実施します（自由参加、会費4,000円/人）。  
『パープークラブ』 大村市本町328-1（2F） TEL 0957-52-3958  
（会場から徒歩15分程、会場からの送迎車あり）
6. 募集期間： 平成30年8月下旬 ～ 10月10日（水）
7. 応募要領： 別紙（参加申込書）に記入後、下記事務局へ郵送・FAX・メールのいずれかにてお申込下さい。  
  
医療法人カメリア 大村共立病院 カメリアこころのワークショップ事務局  
担当：山内、中村  
〒856-0023 長崎県大村市上諏訪町1095  
TEL: 0957-53-1121 FAX: 0957-52-6717  
E-mail: workshop@camellia.or.jp
8. その他：  
宿泊については、各自で手配して下さい。  
気楽に議論ができるようノーネクタイ・ノースーツのカジュアルな服装でご参加下さい。

(別紙)

第13回カメラアこころのワークショップ  
参加申込書

表題のワークショップへ参加を希望いたします。

応募者氏名： \_\_\_\_\_  
\*氏名にふりがなをふって下さい。

性別： \_\_\_\_\_

年齢： \_\_\_\_\_ 歳

所属/職種： \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_

職場住所(連絡先)： 〒 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

職場 TEL/FAX : TEL : \_\_\_\_\_ / FAX : \_\_\_\_\_

メールアドレス : \_\_\_\_\_

懇親会： \_\_\_\_\_ (領収書の宛名 \_\_\_\_\_) / 参加しません  
\*懇親会費(4,000円)は当日ワークショップの会場にてお支払下さい。

通信欄：不明な点などございましたら、ご記載下さい。

--